

■台湾：10月から電気料金値上げ

経済部（MOEA）は2013年8月28日、台湾電力公司（TAIPOWER）の赤字を削減するため、10月1日から電気料金を平均8.49%値上げし、平均2.87元/kWh（約9.4円/kWh）にすると発表した。月間使用量500kWh以下の家庭用と1,500kWh以下の小規模・商業用は据え置かれる。用途別の値上げ率は、家庭用3.87%、小規模・商工業用（中圧電力供給）7.6%、大規模・商工業用（高圧電力供給）10.05%である。燃料調整制度の導入は見送られる。台湾電力の関係者は「燃料調整制度の導入が見送られたので、10月から値上げしても今年の赤字額は441億元（約1,444億円）、累積赤字は2,372億元（約7,767億円）になると見込まれる。早急に燃料調整制度を導入して欲しい」とコメントしている。